

登録日	2025/11/14
腫瘍名	尿路上皮がん

登録番号	Uro021
申請医師	泌尿器科

投与スケジュール

GEM+CDDP+Durvalumab (分割)				21日毎 × 4コース										
				1コース				2コース						
				1	2	3	4	8	9	10	11	22	...	(day)
アプレピタント		内服		↓	↓	↓		↓	↓	↓				
(Day1:125mg, Day2:80mg, Day3:80mg)														
デカドロン	8mg/body	内服	朝・昼食後		↓	↓	↓			↓	↓	↓		
オランザピン	5mg/body	内服	夕食後	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓			
① KCL注	10 mEq	点滴	60分	↓				↓				↓		
硫酸マグネシウム	10 mEq			↓				↓						
生理食塩水	500 mL													
* 病棟に払い出し														
② 生理食塩水	50 mL	点滴	5分	↓								↓		
(フラッシュ用)														
③ イミフィンジ	1500 mg	点滴	60分	↓								↓		
生理食塩水	250 mL			↓								↓		
④ 生理食塩水	50 mL	点滴	5分	↓								↓		
(イミフィンジ用フラッシュ)														
⑤ デキサート	9.9 mg	点滴	15分	↓				↓				↓		
パロノセトロン	0.75 mg													
生理食塩水	50 mL													
⑥ ゲムシタピン	1000 mg/m ²	点滴	30分	↓				↓				↓		
生理食塩水	100 mL													
⑦ 生理食塩水	50 mL	点滴	5分	↓				↓				↓		
(ゲムシタピン用フラッシュ)														
⑧ 20%マンニトール	300 mL	点滴	60分	↓				↓				↓		
⑨ シスプラチン	35 mg/m ²	点滴	120分	↓				↓				↓		
生理食塩水	500 mL													
⑩ 生理食塩水	500 mL	点滴	2時間	↓				↓				↓		
⑪ 生理食塩水	1000 mL	点滴	16時間	↓				↓				↓		
(Day2の10時までキープ)														
⑫ 生理食塩水	2000 mL	点滴	24時間		↓	↓			↓	↓				
(1日2本の輸液を24時間でキープして投与)														

注意事項

【適応】

- ・膀胱癌の周術期治療として、術前にGEM+CDDP+Durvalumabが実施され、術後にDurvalumabが実施される。
- ・クレアチニンクリアランス40mL/min以上60mL/min未満の事例に本分割投与レジメンが使用される。

【調整及び使用上の注意】

- ・アプレピタント内服 (Day1:125mg、Day2:80mg、Day3:80mg) (投与確定後に服用)
- ・Day1～2までの生理食塩水のキープ輸液の点滴時間は目安の投与時間となります。
(Day1の生理食塩水2時間投与後に翌日までキープして投与します)
- ・シスプラチン投与後、2時間で尿測1L 以下、尿回数3回未満、体重2kg増加
→ ラシックス20mg追加投与を検討
- ・Day2～3、Day9～10の生食は、患者が飲水可能な場合(1日1～2Lを目安)、医師判断で削減可。
- ・イミフィンジはインラインフィルターを使用(0.2または0.22 μ m)
- ・免疫チェックポイント阻害薬の運用フローを参照。

参考文献

- 1) N Engl J Med, 391, 1773-1786 (2024).
- 2) 添付文書(オプジーボ2025年9月改訂版、ゲムシタビン2025年9月改訂版、シスプラチン2025年9月改訂版)